

株主・投資家の皆さまへ

# 業績報告書

vol.59



2017年度 第3四半期決算報告



JT NEWS

ひとの  
ときを、  
想う。 JT

# 厳しい環境の中、 着実な利益成長



代表取締役社長

小泉 光臣

## 2017年度 第3四半期実績

全社の利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は、国内たばこ事業および加工食品事業での減益を、海外たばこ事業、医薬事業の増益が上回り、前年同期比で2.8%の成長となりました。

財務報告ベースでは、売上収益は国内たばこ市場における紙巻総需要の減少を主因として、1.6%の減収となりました。一方、調整後営業利益は海外たばこ事業における不利な為替影響を受けたものの、2.0%の増益となりました。また、営業利益・四半期利益については、不動産関連売却益の減少等により、それぞれ5.0%、4.7%の減益となりました。

海外たばこ事業については、イラン、新興市場での堅調なパフォーマンスおよびフィリピンにおける買収効果があった

ものの、さまざまな市場における総需要の減少と競争激化を主因に、総販売数量は前年同期比2.0%減少いたしました。一方、GFB\*販売数量については、複数の主要市場におけるシェアの伸長、新興市場での力強い成長を背景に、前年同期比0.2%の増加となりました。

ドルベース・為替一定ベースでは、自社たばこ製品売上収益は、プライシング効果が販売数量減少の影響を一部相殺し、前年同期比で1.5%の減収、調整後営業利益については、拠点最適化による製造コストの低減効果が着実に発現したことを主因に、9.2%の利益成長となりました。

財務報告ベースでは、現地通貨安がネガティブに作用し、自社たばこ製品売上収益は2.1%の減収、調整後営業利益は4.6%の増益に留まりました。なお、円ベースの実績については、円安がポジティブに作用し、自社たばこ製品売上収益、調整後営業利益で、前年同期比それぞれ1.1%、7.8%増加しております。

国内たばこ事業については、趨勢減およびたばこペーパー製品\*\*市場拡大の影響を受け、紙巻総需要、JT紙巻販売数量ともに11.8%の減少となりました。シェアについては、「メビウス」が定価改定による影響を受けたものの、「ナチュラル アメリカン スピリット」をはじめとするそ

の他の注力ブランドが堅調なパフォーマンスを見せ、JTブランドトータルでは61.0%と、前年同期比で同水準の実績となっております。

自社たばこ製品売上収益は、「メビウス」等の定価改定による単価効果および「ブルーム・テック」の販売エリア拡大による売上の伸長があったものの、紙巻販売数量の減少により、前年同期比で8.7%の減収となりました。調整後営業利益については、紙巻への投資水準最適化を通じた160億円超のコスト低減等があるものの、減収影響が大きく、前年同期比で10.6%の減益となりました。

医薬事業は、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加、および抗HIV薬等の販売好調による子会社の売上の伸長により、前年同期比で135億円の増収、116億円の大幅な増益となりました。

加工食品事業については、調味料の売上は伸長したものの、その他商品の販売減少により、前年同期比で28億円の減収、8億円の減益となりました。

## 2017年度 修正見込

2017年の全社業績見込については、国内紙巻販売数量の前提を見直したことを主因に、為替一定調整後営業利益は50億円の下修正といたします。財務報告ペー

スの調整後営業利益については、為替レート的前提を、主要現地通貨対ドルおよびドル円をポジティブ方向へ見直したことにより、20億円の上修正といたします。営業利益・当期利益については、調整後営業利益の上修正があるものの、海外たばこにおける買収関連費用の計上等を見込んでおり、前回見込から変更いたしません。

国内外での総需要の減少や競争の一層の激化が見込まれますが、通期の利益成長を達成するための施策を計画通りに実行しつつ、将来の利益成長に向けた事業投資も着実に推進してまいります。

引き続き4Sモデルに基づき、グループ一丸となって事業環境の変化に対応し、中長期にわたる一桁台半ばから後半の利益成長を目指してまいります。

なお、配当金については、年間で140円と当初予想から変更はありません。

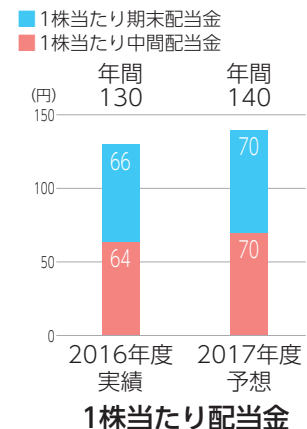
\* JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」「ペンソン・アンド・ヘッジス」「グラマー」「ソプラニー」「シルクカット」「ナチュラル アメリカン スピリット」の9ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)としております

\*\* たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させず、加熱等によって発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品カテゴリーを「たばこペーパー製品」としております

## 2017年度 第3四半期決算 全社実績

|              | 2016年1-9月 | 2017年1-9月 | 対前年同期増減率 | 前回見込   | 修正見込   | 対前回見込増減 | 対前年度増減率 |
|--------------|-----------|-----------|----------|--------|--------|---------|---------|
| (単位：億円)      |           |           |          |        |        |         |         |
| 為替一定ベース      |           |           |          |        |        |         |         |
| 調整後営業利益*1    | 4,765     | 4,897     | +2.8%    | 5,970  | 5,920  | -50     | +0.9%   |
| 財務報告ベース      |           |           |          |        |        |         |         |
| 売上収益         | 16,185    | 15,929    | -1.6%    | 21,250 | 21,300 | +50     | -0.6%   |
| 調整後営業利益*1    | 4,765     | 4,861     | +2.0%    | 5,890  | 5,910  | +20     | +0.7%   |
| 営業利益         | 4,946     | 4,697     | -5.0%    | 5,650  | 5,650  | —       | -4.8%   |
| 四半期利益／当期利益*2 | 3,500     | 3,337     | -4.7%    | 4,020  | 4,020  | —       | -4.7%   |

\*1 調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目（収益および費用）  
\*2 親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益  
\*調整項目（収益および費用）＝ のれんの減損損失＋リストラックチャリング収益および費用等



# 海外たばこ事業

## ✓ 今期のポイント

- 総需要減少、競争激化等により、総販売数量は減少
- 主要市場でのシェア伸長等により、GFB販売数量は堅調
- 主にコスト低減効果が着実に発現したことにより、為替一定で増益

## 業績サマリー

総販売数量

2,980 億本

前年同期比

−62億本↓  
−2.0%↓

自社たばこ製品売上収益  
為替一定ベース/ドルベース

7,941 百万ドル

前年同期比

−120百万ドル↓  
−1.5%↓

調整後営業利益  
為替一定ベース/ドルベース

2,868 百万ドル

前年同期比

+241百万ドル↑  
+9.2%↑

GFB販売数量

2,168 億本

前年同期比

+5億本↑  
+0.2%↑

ドルベース

7,895 百万ドル

前年同期比

−167百万ドル↓  
−2.1%↓

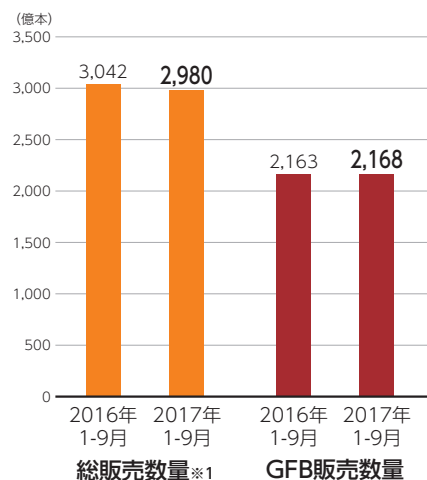
円ベース

3,071 億円

前年同期比

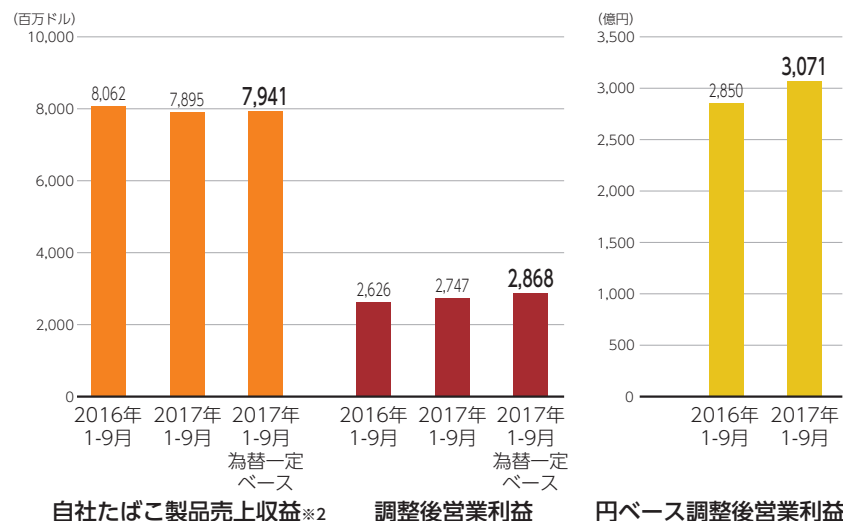
+221億円↑  
+7.8%↑

## 販売数量実績



※1 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み

## 財務実績



※2 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み

## 主要市場シェア (12か月移動平均)

|                   | 2016年<br>9月      | 2017年<br>9月      | 増減%pt                |
|-------------------|------------------|------------------|----------------------|
| フランス              | 21.8%            | 22.0%            | +0.2%pt              |
| イタリア              | 22.9%            | 23.2%            | +0.3%pt              |
| ロシア<br>(うちGFBシェア) | 33.2%<br>(24.6%) | 32.7%<br>(25.0%) | -0.5%pt<br>(+0.4%pt) |
| スペイン              | 22.7%            | 23.8%            | +1.1%pt              |
| 台湾                | 39.5%            | 41.8%            | +2.3%pt              |
| トルコ               | 29.7%            | 29.0%            | -0.7%pt              |
| 英国                | 42.1%            | 40.5%            | -1.5%pt              |

小数点第一位未満を四捨五入して表示しております  
Source: IRI, Nielsen, Logista

# 国内たばこ事業

## ✓ 今期のポイント

- 趨勢減、たばこペーパー製品市場拡大による紙巻総需要の減少により、紙巻販売数量は減少
- 「ナチュラル アメリカン スピリット」のシェア伸長等もあり、JT紙巻シェアは堅調に推移
- 紙巻販売数量の減少により、減収・減益

### 業績サマリー

JT紙巻販売数量

703億本

前年同期比

−94億本↓  
−11.8%↓

自社たばこ製品売上収益

4,431億円

前年同期比

−424億円↓  
−8.7%↓

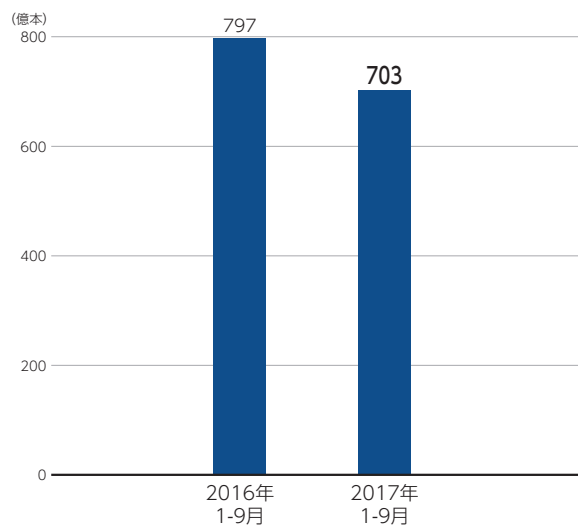
調整後営業利益

1,780億円

前年同期比

−210億円↓  
−10.6%↓

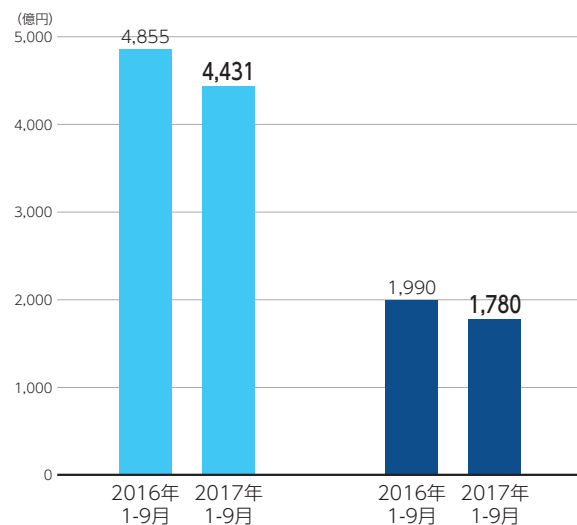
### 販売数量実績



JT紙巻販売数量※1

※1 国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない

### 財務実績



自社たばこ製品売上収益※2

調整後営業利益

※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Emerging Productsの売上を含む

### JT紙巻シェア／注カブランドシェア

|  | 2016年<br>1-9月 | 2017年<br>1-9月 | 増減%pt   |
|--|---------------|---------------|---------|
|  | 61.0%         | 61.0%         | +0.0%pt |
|  | 31.4%         | 31.1%         | −0.2%pt |
|  | 8.0%          | 8.1%          | +0.1%pt |
|  | 7.5%          | 7.6%          | +0.1%pt |
|  | 1.5%          | 1.8%          | +0.3%pt |

小数点第一位未満を四捨五入して表示しております

# 医薬事業

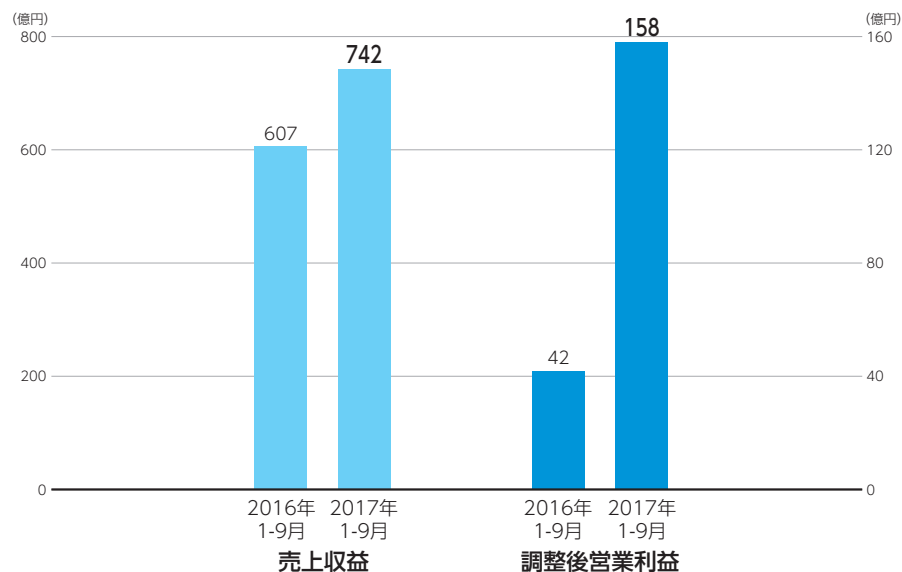
## ✓ 今期のポイント

- 導出品販売好調によるロイヤリティ収入増加、子会社の販売好調により、大幅な増収・増益

### 業績サマリー

| 売上収益  | 前年同期比              | 調整後営業利益 | 前年同期比               |
|-------|--------------------|---------|---------------------|
| 742億円 | +135億円↑<br>+22.2%↑ | 158億円   | +116億円↑<br>+274.4%↑ |

### 財務実績



# 加工食品事業

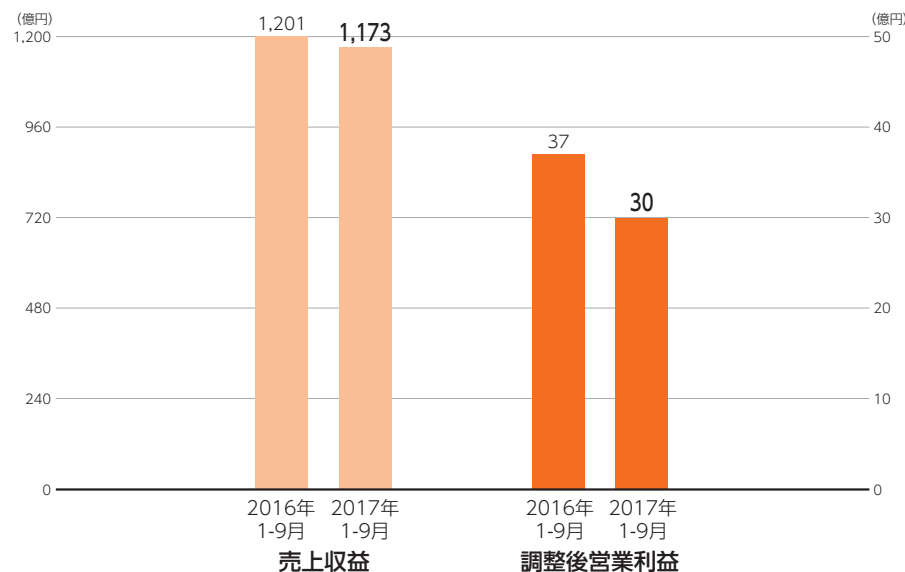
## ✓ 今期のポイント

- 調味料の販売が伸長したものの、その他商品の販売が減少したことにより減収・減益

### 業績サマリー

| 売上収益    | 前年同期比            | 調整後営業利益 | 前年同期比            |
|---------|------------------|---------|------------------|
| 1,173億円 | -28億円↓<br>-2.3%↓ | 30億円    | -8億円↓<br>-20.4%↓ |

### 財務実績



# 2017年度 第3四半期 連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| 科目              | 2016年<br>12月末 | 2017年<br>9月末 | 増減金額    |
|-----------------|---------------|--------------|---------|
| 資産              |               |              |         |
| 流動資産            | 1,605,990     | 1,598,979    | △7,011  |
| 非流動資産           | 3,138,384     | 3,316,547    | 178,163 |
| 有形固定資産          | 680,835       | 707,175      | 26,340  |
| のれん             | 1,601,987     | 1,719,023    | 117,036 |
| 無形資産            | 423,970       | 449,650      | 25,680  |
| 投資不動産           | 18,184        | 17,334       | △850    |
| 退職給付にかかる資産      | 23,680        | 25,700       | 2,020   |
| 持分法で会計処理されている投資 | 123,753       | 129,316      | 5,562   |
| その他の金融資産        | 99,358        | 113,791      | 14,433  |
| 繰延税金資産          | 166,617       | 154,559      | △12,058 |
| 資産合計            | 4,744,374     | 4,915,527    | 171,152 |

(単位：百万円)

| 科目             | 2016年<br>12月末 | 2017年<br>9月末 | 増減金額    |
|----------------|---------------|--------------|---------|
| 負債および資本        |               |              |         |
| 負債             |               |              |         |
| 流動負債           | 1,356,574     | 1,375,990    | 19,416  |
| 非流動負債          | 859,759       | 811,475      | △48,284 |
| 負債合計           | 2,216,333     | 2,187,465    | △28,868 |
| 資本             |               |              |         |
| 親会社の所有者に帰属する持分 | 2,456,091     | 2,654,421    | 198,330 |
| 資本金            | 100,000       | 100,000      | —       |
| 資本剰余金          | 736,400       | 736,410      | 10      |
| 自己株式           | △443,822      | △443,754     | 67      |
| その他の資本の構成要素    | △303,554      | △194,942     | 108,612 |
| 利益剰余金          | 2,367,067     | 2,456,707    | 89,641  |
| 非支配持分          | 71,950        | 73,640       | 1,690   |
| 資本合計           | 2,528,041     | 2,728,061    | 200,020 |
| 負債および資本合計      | 4,744,374     | 4,915,527    | 171,152 |

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目                | 2016年<br>1-9月 | 2017年<br>1-9月 | 増減金額    |
|-------------------|---------------|---------------|---------|
| 売上収益              | 1,618,537     | 1,592,899     | △25,639 |
| 売上原価              | △652,015      | △619,334      | 32,681  |
| 売上総利益             | 966,523       | 973,565       | 7,043   |
| その他の営業収益          | 66,225        | 34,340        | △31,885 |
| 持分法による投資利益        | 4,834         | 5,032         | 199     |
| 販売費および一般管理費等      | △543,001      | △543,269      | △268    |
| 調整後営業利益※          | 476,544       | 486,051       | 9,508   |
| 営業利益              | 494,580       | 469,668       | △24,912 |
| 金融収益              | 5,143         | 3,657         | △1,486  |
| 金融費用              | △15,448       | △19,390       | △3,942  |
| 税引前四半期利益          | 484,275       | 453,935       | △30,340 |
| 法人所得税費用           | △131,022      | △117,669      | 13,354  |
| 四半期利益             | 353,253       | 336,266       | △16,986 |
| 四半期利益の帰属          |               |               |         |
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | 350,008       | 333,698       | △16,310 |
| 非支配持分に帰属する四半期利益   | 3,245         | 2,568         | △677    |
| 四半期利益             | 353,253       | 336,266       | △16,986 |

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)\*

\*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| 科目                  | 2016年<br>1-9月 | 2017年<br>1-9月 | 増減金額    |
|---------------------|---------------|---------------|---------|
| 四半期利益               | 353,253       | 336,266       | △16,986 |
| 税引後その他の包括利益         | △379,127      | 108,689       | 487,815 |
| 四半期包括利益             | △25,874       | 444,955       | 470,829 |
| 四半期包括利益の帰属          |               |               |         |
| 親会社の所有者に帰属する四半期包括利益 | △27,506       | 442,112       | 469,617 |
| 非支配持分に帰属する四半期包括利益   | 1,632         | 2,843         | 1,211   |
| 四半期包括利益             | △25,874       | 444,955       | 470,829 |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目                      | 2016年<br>1-9月 | 2017年<br>1-9月 | 増減金額     |
|-------------------------|---------------|---------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 79,716        | 334,452       | 254,736  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △655,745      | △171,256      | 484,489  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 236,805       | △242,588      | △479,393 |
| 現金および現金同等物の増減額(減少)      | △339,223      | △79,392       | 259,831  |
| 現金および現金同等物の期首残高         | 526,765       | 294,157       | △232,608 |
| 現金および現金同等物にかかる為替変動による影響 | △23,303       | 2,216         | 25,519   |
| 現金および現金同等物の四半期末残高       | 164,238       | 216,980       | 52,742   |

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更  
（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等



## たばこ新商品紹介

### プルーム・テック専用たばこカプセル

## 「メビウス・ブラウン・アロマ・フォー・プルーム・テック」 「メビウス・レッド・クーラー・フォー・プルーム・テック」

JTは11月上旬、新たに「プルーム・テック」専用たばこカプセル2銘柄を発売しました。



#### 「メビウス・ブラウン・アロマ・フォー・プルーム・テック」

カフェモカフレーバーのほろ苦さと濃厚な甘み。ふわりと広がる豊かな香り。

#### 「メビウス・レッド・クーラー・フォー・プルーム・テック」

アップルミントフレーバーの優しい香り立ちに、ほのかな甘みと酸味。広がる清涼感。

たばこカプセル5本入  
カートリッジ1本入  
定価460円（2銘柄とも）

#### 担当者コメント

JT EPマーケティング部 細田 裕介

「プルーム・テック」専用たばこカプセルの新商品、「メビウス・ブラウン・アロマ・フォー・プルーム・テック」と、「メビウス・レッド・クーラー・フォー・プルーム・テック」の2銘柄を東京都、福岡市、Ploomオンラインショップで展開しています。

2銘柄の発売にともない、既存3銘柄のリニューアルも実施。多彩なフレーバーをお楽しみいただけるフレーバーライン3銘柄（新製品2銘柄を含む）と、雑味のないクリアなたばこの味わいを追求した定番レギュラーとメンソールのスタンダードライン2銘柄の5つのラインナップで、お客様の幅広いニーズにお応えしていきます。



※このページは株主の皆様にも事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

## 食品新商品紹介

### 蕎麦打ち職人 海老天そば 2尾入

電子レンジ調理 鍋調理 1食入/247g

- 贅沢な2尾の海老天！  
石臼挽きそば粉を使用して  
風味豊かに。



#### 担当者コメント

テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 山田 顕



今回の海老天そばは、そばの風味向上、具材感向上、つゆのだし感アップにこだわりました。石臼挽きしたそば粉を使用することで食感や風味が向上しており、ご好評いただいております。海老天も2尾にボリュームアップして食べ応えがありますので、ぜひご賞味ください。

### 和のごはん 国産こしひかりの 鶏めし

電子レンジ調理 フライパン調理

1食入/360g

- 甘辛く煮た国産鶏肉やごぼうなど豊富な具材を国産米に混ぜ込みました。もちもちの食感を楽しめるもち麦も配合。



### 国産小麦 減塩うどん 3食

電子レンジ調理 鍋調理 3食入/540g

- こだわりの国産小麦を使用。おいしさ、食感そのままに塩分約50%カット！

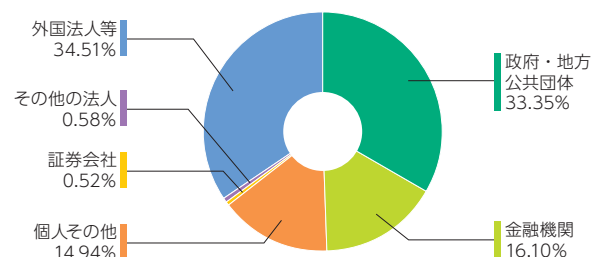
## 会社概要

商 号 日本たばこ産業株式会社  
 本社所在地 〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル  
 TEL.(03) 3582-3111 (代表) FAX.(03) 5572-1441  
<https://www.jti.co.jp/>

設 立 1985年(昭和60年)4月1日  
 資 本 金 1,000億円

## 株式の状況 2017年9月30日現在

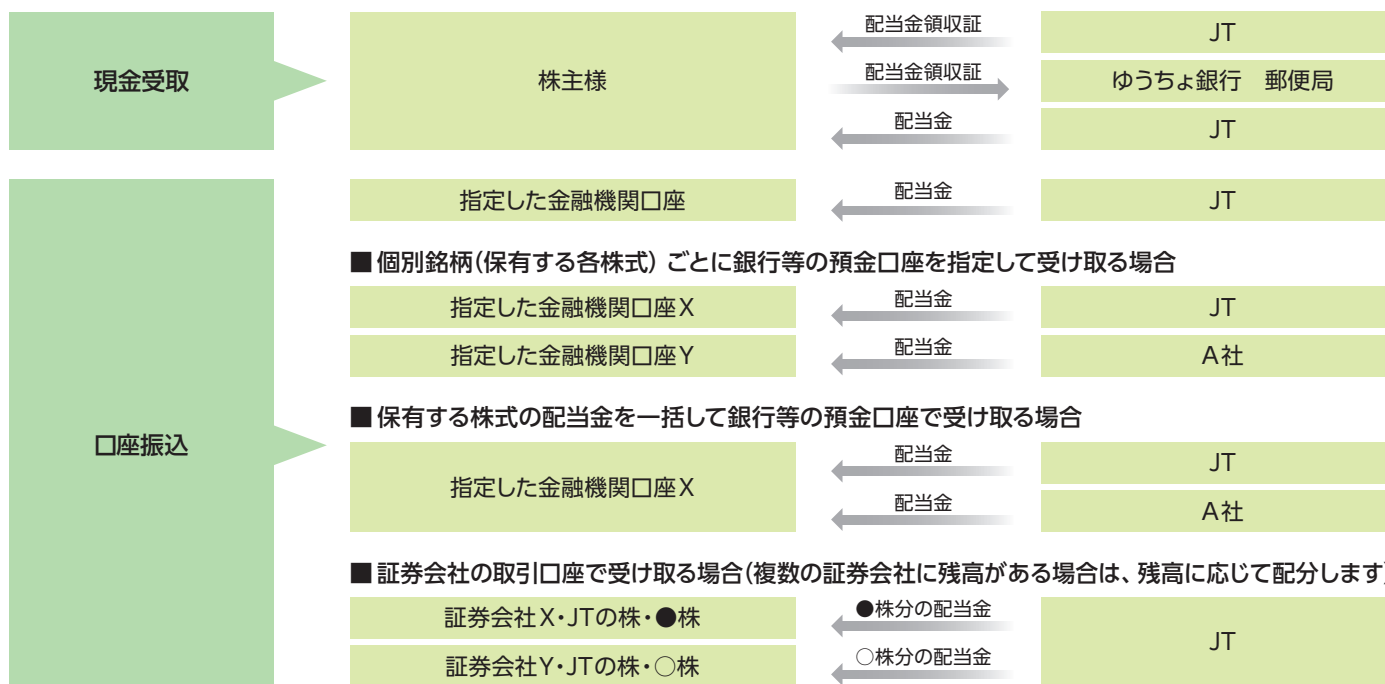
### 所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株  
 発行済株式の総数 2,000,000,000株  
 (自己株式 209,012,545株)  
 株主数 168,013名

## 配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

## 株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告  
当社ホームページ (https://www.jti.co.jp/) に掲載  
※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・  
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

### ■事務取扱場所

東京都千代田区丸の内1-4-5  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### ■お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

### ■郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式の諸手続きについて

### 証券会社でお取引をされている株主様

#### 【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

#### 口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル

など

#### 三菱UFJ信託銀行株式会社

### 特別口座をご利用の株主様

#### 【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

#### お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

#### 郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください

## 役員 2017年10月1日現在

### ■取締役

取締役会長 丹呉 泰健  
代表取締役社長 小泉 光臣  
代表取締役副社長 新貝 康司  
代表取締役副社長 岩井 睦雄  
取締役副社長 宮崎 秀樹  
取締役 岡 素之\*  
取締役 幸田 真音\*

※取締役 岡 素之および幸田 真音は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

### ■監査役

常勤監査役 中村 太  
常勤監査役 湖島 知高  
監査役 今井 義典\*  
監査役 大林 宏\*

※監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

※法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、補欠監査役 政木 道夫を選任しております

### ■執行役員

|        |                                                   |       |
|--------|---------------------------------------------------|-------|
| 社長     | (CEO)                                             | 小泉 光臣 |
| 副社長    | (副CEO、コンプライアンス・総務・法務・人事・企画・IT・ビジネスディベロップメント・監査担当) | 新貝 康司 |
| 副社長    | (たばこ事業本部長)                                        | 岩井 睦雄 |
| 副社長    | (財務・CSR・コミュニケーション担当)                              | 宮崎 秀樹 |
| 専務執行役員 | (コンプライアンス・総務担当)                                   | 千々岩良二 |
| 専務執行役員 | (たばこ事業本部 国内たばこ事業プレジデント)                           | 佐々木治道 |
| 常務執行役員 | (たばこ事業本部 中国事業部長)                                  | 山下 和人 |
| 常務執行役員 | (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)                         | 前田四郎治 |
| 執行役員   | (たばこ事業本部 渉外企画室長)                                  | 福地 淳一 |
| 執行役員   | (たばこ事業本部 R & D責任者)                                | 柴山 武久 |
| 執行役員   | (たばこ事業本部 製造責任者)                                   | 大友 平和 |
| 執行役員   | (たばこ事業本部 原料責任者)                                   | 小倉 健資 |
| 執行役員   | (たばこ事業本部 品質保証責任者)                                 | 伊熊 浩之 |
| 執行役員   | (医薬事業部長)                                          | 藤本 宗明 |
| 執行役員   | (医薬事業部 医薬総合研究所長)                                  | 大川 滋紀 |
| 執行役員   | (財務責任者)                                           | 見浪 直博 |
| 執行役員   | (CSR担当)                                           | 永田 亮子 |
| 執行役員   | (法務担当)                                            | 山田 晴彦 |
| 執行役員   | (人事担当)                                            | 廣渡 清栄 |
| 執行役員   | (企画・IT担当)                                         | 前田 勇気 |
| 執行役員   | (ビジネスディベロップメント担当)                                 | 筒井 岳彦 |
| 執行役員   | (コミュニケーション担当)                                     | 中野 恵  |
| 執行役員   | (総務担当)                                            | 菊池 孝徳 |

## 株価の推移 1994年10月27日上場～2017年10月 当社株価（東証終値、月間）

